

報告日 令和7年10月17日
報告回次 2回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	西宮市役所			代表者名	石井登志郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0798-35-3538
担当者役職	担当課長	担当者氏名	谷口 麻衣	連絡先E-mail	
住所	663-8567 兵庫県西宮市六湛寺町8番28号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	ICT査定事業
概要	ICT予算の査定機能形骸化を解消するため、令和7年度に導入する新たな査定プロセスに対し、外部有識者による公正な確認とご助言をいただき、査定の客觀性と妥当性を担保することで、予算の適正化を確実にするため依頼します。		
支援を求める分野	#REF!		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	700	令和7年10月15日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月15日	支援・助言(オンライン)	14時30分	17時30分	
				活動時間（分）	180
2-2. 派遣場所	会場名	西宮市役所 第2庁舎		最寄駅	阪神電鉄 西宮駅
	所在地	西宮市六湛寺町8番28号		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	澤 尚幸
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	単なる予算査定に留まらず、澤先生の豊富なご経験から、「そもそもこの事業に投資すべきか」という根本的な問いや、今後の事業の進め方といった、より高次の経営的視点からアドバイスをいただけたことは、極めて有益であったため
アドバイザーへの要望事項	前回同様、短期的な視点だけでなく中長期的な観点も踏まえたご助言は、大変参考になりました。ありがとうございました。引き続きよろしくお願ひいたします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	6人
	属性	自治体職員	住民		
		人数	6	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市のICT関連予算は、所管課の要求をデジタル推進部が専門的見地から確認し、財政当局が承認するプロセスとなっています。しかし、デジタル推進部に予算の査定・決定権がないため、実質的なチェック機能が働かないという構造的な課題を抱えています。これにより、オーバースペックな機器や類似システムが各課で導入されるなど、ICT投資の非効率化が進んでいます。この状況は、全庁的なデータ連携や標準化を妨げ、将来的な運用コストを増大させるリスクも内包しています。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	ICT投資の最適化を図るため、デジタル推進部による予算査定の結果を「DX推進部会」で承認し、予算策定へ確実に反映させる仕組みを令和7年度より構築します。この仕組みの運用にあたり、アドバイザーという公正な第三者の視点から査定内容への助言を受けることで、その客觀性と妥当性を高めることを本支援における成果としました。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<p>前回に引き続き、ICT関連予算の新規・更新案件について、専門的かつ客観的な第三者の視点から、個別の案件に対する具体的な助言および、市全体のDX推進における重要な示唆を以下の視点からいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根本原因の追求：提案されている施策が、本当に解くべき課題に合っているかをご指摘いただきました。特に「自治会DX補助金」に対する「真の課題は資金不足ではなく扱い手不足」という指摘をいただいたことから、表層的な解決策に警鐘を鳴らし、問題の本質を見極めることをご助言いただきました。 ・長期的・経済的な視点：目前の利便性のための安易なカスタマイズや随意契約が、将来的に「ベンダーロックイン」や「高額なコスト」といった、より大きな問題につながるリスクについてご指摘いただきました。短期的な視点ではなく、長期にわたって持続可能で、経済合理性のある選択を行うようご助言いただいている。 ・実効性の検討と検証の要求：「災害時用タブレット」の例のように、技術やツールを導入することが目的化していないか、「本当に現場で役に立つか」という実効性を問う視点が重要とご助言いただきました。先入観で判断せず、その有効性を客観的に検証すべきということをご指摘いただきました。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	デジタル推進部の査定に対し専門的な裏付けを得るとともに、「費用対効果」「持続可能性」という中長期的な視点を持つことの重要性について助言をいただきました。これにより、個別最適化された非効率な投資を防ぎ、市全体のICTガバナンスを強化するという課題解決の方向性が明確になりました。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他</p> <p>デジタル推進部の査定結果に対する、アドバイザーの助言・評価コメント。 これらは、予算要求の妥当性を裏付ける客観的な根拠として、DX推進部会に提出する資料に活用します。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	前回で残っていた7案件に加え、3案件追加させていただき合計10案件について、ご助言いただきました。 今回をもって、今年度の査定でご助言いただきたい案件は解決いたしました。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回の支援は、デジタル推進部が実施したICT予算査定の妥当性を、外部の専門家であるアドバイザーにご確認いただくことを主目的としており、また参加者が部内の管理職4名および担当者2名に限られていたことから、アンケート調査は行っておりません。</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>今年度から刷新したICT査定の仕組みについて、今回いただいた助言を基に、判定基準やプロセスをさらに明確化・最適化していきます。 これにより、客観的かつ戦略的なICT投資判断を継続的に行える体制を構築していきます。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今年度から刷新した予算査定プロセスを常態化させ、システム導入が常に「費用対効果」「全体最適」「持続可能性」の観点から評価される仕組みを構築します。 さらに、その評価プロセスに外部有識者の助言を組み込むことで、査定の専門性と客観性を恒常的に担保します。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

